



第266号
発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大博通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●http://www.greencoop-fukuoka.jp

7月号

グリーン・ウェーブ
GREEN WAVE
グリーンコープのうねりを地域へ

今月号の主な内容

- 災害支援報告 …………… 2・3
 - 広報委員おすすめ商品 …………… 4・5
 - 江守 正多さん学習会報告 …………… 6
 - 在宅福祉ワーカーズきらめき …… 7
- ※GREEN WAVEに記載している商品情報は発行日現在のものです(金額は個配価格)
次回発行日は7月17日です。

一緒に話そう、
食べもののこと。



一緒に感じよう、
大切なこと。

グリーンコープには地域委員会という、組合員が集う場所があります。その数、福岡県内に77か所！皆で意見を出し合い、試食や学習会、料理教室など、やりたいこと、知りたいことに楽しく挑戦しています。今回、コロナ禍にも負けず、活発に活動している2つの地域委員会を広報委員がご紹介します。私たち広報委員が、地域委員になったきっかけなども教えちゃいます♪久しぶりの行動制限がない夏！あなたも地域委員会、のぞいてみませんか？



お問い合わせや見学希望は、各支部へお願いします。(注書きに記載されている「お問い合わせの連絡先」です)

宗像支部
福岡南地域委員会

みんながやりたいこと、知りたいことなどの希望を出し合い、何をするかを決めていくスタイルだから、一人ひとりが主人公。明るい話し声が絶えません。



楽しくスタミナ丼作り

毎回、環境のこと、福祉のこと、食べもののことなど楽しいおしゃべりとともに学びあい「ここへ来るとほっとできる」と嬉しい声が聞こえます。新商品を試食したり『スタッシャー』を使って料理したり、みつろうラップを作ったり。笑顔と優しさがあふれる福岡南地域委員会。毎回楽しい取り組みをして盛り上がっています。



広報委員 野田 福祉委員から100円基金の大切さを学ぶ

福岡西支部
いとしま西地域委員会

2年前、地域委員長も常任委員もおらず支部から委員会開催の応援を受けていた、いとしま西地域委員会。現在はメンバーが16名までに増え、イベントにもたくさんの参加者が集まり、2年前からは想像できないほど活発な地域になりました。



地域委員自身が楽しんで参加していることが伝わってくるので、他地域の委員ものぞきに行きたくなる地域委員会です。

広報委員 菊地

私たちが地域委員になったワケ

料理会に参加したのがきっかけ。出産で一度辞めましたが、楽しいので戻ってきました。



二宮

お店の試食会で声をかけられました。地域委員会では、試食が楽しみ♪



菊地

幼稚園のママ友に誘われて。味噌作りなど、自分たちがやりたい取り組みが企画できるのも魅力です♡



野田

福岡に引っ越ししてきて、友達を作るために子育てサークルに入った時に誘われました。地域の幼稚園情報など、たくさん教えてもらいました。



坂田

加入して間もない頃せっけん学習会に誘われたことがきっかけでした。せっけん以外のことも学んでみたいと思い、地域委員になりました。



山本

私の支部では、80才代の方もいろいろなことを学びたくて地域委員になられています。楽しそうに参加されています。



山方

子どもを託児に預けて地域委員会に参加することが、お母さんの育児のちょっとしたリフレッシュになっているようです。



平野

📧 お便りです

地域委員になりました！親子で一緒にリフレッシュ

グリーンコープには食品に関する勉強会などさまざまな活動があり、その間は、託児も充実していて、安心して参加することができます。子どもたちも先生がた(子育てサポートワーカー)と喜んで遊び、親子で笑顔になれるグリーンコープには感謝しかありません。子どもたちもグリーンコープの食品やお菓子が大好き！これからもお世話になりたいと思います。(ペンネーム 龍麟)



2022年度 九州北部豪雨 災害 支援報告

(2022.4~2023.3)

2017年7月の九州北部豪雨災害からまもなく6年がたちます。組合員やお取引先の皆さまから寄せられたカンパ金をもとに、グリーンコープは今も地域に寄り添う支援を続けています。
河川の復旧工事はほぼ完了しましたが、農地や宅地の整備はこれからという地区も多いため過疎化に歯止めがかからず高齢化が進んでいます。そのような中どのように地域を維持していくかが課題になっています。
この1年の支援活動の様子とカンパ金の報告をいたします。

あさくら復興サミット

4/13 6/13 8/29 10/24 12/19 3/15

災害支援で出会った地元の団体と行政とグリーンコープが隔月集まり、活動の報告と意見交換をおこなっています。コロナ禍で定例会すら開けず活動が停滞している団体もありましたが、徐々に再開しているようです。皆さんの活動はどれも魅力的で、毎回わくわくしながら参加しています。

あさくら復興サミットがきっかけで、一般社団法人Campの望月さん(左)、多田さん(右)が地域委員に就任しました。



※2:あさくら復興サミット参加団体の1つ。災害当初は土砂撤去などが主な活動だったが、復興が進む今は、防災・減災活動や耕作放棄地の地域課題にも取り組む。

南地域理事長 永井 洋子

朝倉子ども祭り2022

11/26

～まもる～

あまぎ水の文化村

災害をきっかけに立ち上がった「朝倉子ども祭り実行委員会」。半年間かけて子どもたち自身でお祭りの企画・運営をおこないます。昨年に引き続き、カンパより支援金をお渡ししました。お天気にも恵まれ、ステージパフォーマンスやワークショップをたくさんの方が楽しんでいました。2022年のテーマは「まもる」。防災を学ぶブースやみんなで作る「まもるの塔」もありました。

南地域理事長 永井 洋子



災害支援(お餅つき)

12/17 12/18

朝から雪が舞う中、家族で参加しました。柿添団地の集会場前のテントでは、グリーンコープのピブスを着た男性たちが力強く杵を振り、部屋の中では女性たちが手慣れた様子でお餅を次々と丸めておられました。子どもは地元の子と仲良くなり、かじかむ手を焚火であたため、ずーっと雪合戦をしていました。つき方のコツを教えてください、グリーンコープの商品で作った豚汁と一緒にごちそうになったり、お正月前の楽しい一時になりました。

小倉南支部理事長 花田 信乃



3人ひとりでつきました。

ダークツーリズム

12/17 12/18

新たなダムの建設工事や復旧の様子を見ながら、その場で説明を聞きました。思っていたよりも一か所での災害の規模が大きく、同様の災害が朝倉で何か所も起きていた事実にも愕然としました。写真を見たり、報告を聞いていただけでは分からないことがたくさんあり、ダークツーリズムに参加できて良かったです。今回の参加をきっかけに朝倉と繋がっていきたくて、今後も定期的に参加して復興の様子を見ていきたいと思います。

※1:災害被災地や戦跡などを対象にした観光。風化の防止、教訓を得るなど、目的は様々。

北九州地域食べもの委員長 片山 京子



至る所で砂防ダム工事が続いていた

バスの運転手さんから被災した地区で当時の状況を伺いました

乙女の大根

6/4

杷木団地にお住まいの方で大根の収穫をしました。雨の日が続いたことで半分以上が根腐れしている大根や小さい大根などもあり、中には形が面白い大根もありました。当日は子どもの参加も多く、変わった形の大根を見て「お父さんの足みたい」とか「赤ちゃん大根だ」と笑いながらせっせと運んでいました。収穫を通して野菜を育てる大変さや、楽しさを体験することができました。大根の収穫は終わりましたが、被災された方がたまたま違う形で今後も交流していけたらと願っています。

久留米支部理事長 山本 幸子



着物ほどこボランティア

杷木団地にお住まいの皆さんが長い間関わってこられた、「乙女の大根」の作付けが終了しました。それにかわる取り組みとして、「着物ほどこボランティア」をお願いすることになりました。皆さんが一所懸命にほどこくださった着物は、4月末日までで296枚。ほどこされた着物生地は、リメイク服として生まれ変わります。作り手が追いつかないほど、たくさんの生地が出番待ちとなっています。新たな楽しみの一つとして着物ほどこが定着し、これからも手先を動かす作業を続けてほしいなあと思います。

ゆうあい福岡 川口 愛



見守り訪問

12/8

独居や高齢の被災者の方を対象にした見守り訪問を続けています。コロナ禍のため年末に1回のみ訪問でしたが、お元気を拝見すると嬉しくなります。訪問先の方も私達を心待ちにしてください、会えなかった一年分の近況を話してください。買い物が難しくなったお知り合いにグリーンコープを勧めてくださる方もおられます。そんな優しい繋がりを大切に、これからも訪問を続けていきたいと思います。

広報委員長 坂田 和英



年末に向けてしめ飾りやお餅などをお届けしました。

絵本「くまとかきのみ」原画展

7/2~10

絵本「くまとかきのみ」の発刊を記念して、ギャラリー cōbaçō(朝倉市牛鶴)でおこなわれた原画展の会場費と額装費をカンパ金からお渡ししました。この絵本は、被災地の子どもたちと自然体験活動をおこなっている市民団体「あさ・くる」が、あの日から続く復興への軌跡を子どもたちや次の世代に伝えたいと企画しました。作家のなるかわしんごさんが、杷木志波の平覆地区を回って地元の人と語り、なかなか言葉にすることが難しい感情や記憶、集落の情景をもとに物語を紡ぎました。寄り添い一歩ずつ再生へと進んでいく姿が、やさしいタッチの絵で描かれています。

南地域理事長 永井 洋子



こんな活動もしています。



7/5 災害協定締結式(太宰府市)



太宰府市役所にておこないました

「災害時における物資供給及び被害者支援相談等に関する協定書」の締結式がおこなわれました。南地域理事長から「これまで春日市、那珂川市、朝倉市などと災害協定を結んできましたが、太宰府では被害者支援相談にも協力する内容となっています。これまでも生活支援相談の協力をおこなってきたからです。」と挨拶がありました。さらに、締結後のインタビューでは「災害により生活困窮者が増え、これまで困っていた方もさらに困る状況になることがあるが、寄り添って、元の生活に戻ることとはできなくても、未来に希望を持てるよう支援していきたい」と話されていました。

筑紫支部副支部理事長 志賀 ゆう

グリーンコープは、これまで様々被災地支援をおこなってきました。被災地各地の方がたや支援団体と繋がり、今も各地で支援を続けています。ニュースなどで報道されなくても、出会った人たちに笑顔が戻るまで寄り添う、それがグリーンコープの支援です。

九州北部豪雨を含む災害支援の報告はこちらからもご覧いただけます



九州北部豪雨災害支援金の報告

カンパ金は様々な支援に活かされています!!

災害支援募金用途(一部)

- ・スタートバック
- ・衣類
- ・飲料
- ・復興まつり
- ・食材
- ・炊き出し資材
- ・土木資材
- ・防災・減災活動費
- ・薬品、化粧品
- ・家電品
- ・弁当
- など

※スタートバック:仮設住宅などでの新しい生活に必要な物を組合員が考え、セットしてお届けした支援物資

〈九州北部豪雨災害カンパについて〉

皆さまからお寄せいただいたカンパ金の残高がまだまだたくさん残されています。一旦、OCR(注文書)でのカンパの呼びかけは終了しています。

これまでもお寄せくださったカンパ金と温かいお気持ちに感謝いたします。

2022年3月までに寄せられたカンパ金

1億2963万7038円

生活様式の転換期!?

私たちはなにをすべき?

3/20

江守 正多氏学習会

「気候危機のリスクと社会の大転換」 ～地球のために、今私たちができること～

世界的にも気候危機問題への危機感が高まり、グリーンコープでもカーボンニュートラルについて検討を続けています。気候変動や地球温暖化について知りたいと、3月に江守正多氏を招き学習会をおこないました。

グリーンコープとしてだけでなく、一人ひとりにもできることがあります。

あなたはどうか考え、行動しますか？

講師
紹介

江守 正多氏

1970年神奈川県生まれ。

東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程終了。博士(学術)。

1997年より国立環境研究所に勤務。

地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長等を経て、2021年より地球システム領域副領域長。連携推進部社会対話・協働推進室長を兼務。

2021年より東京大学総合文化研究科広域科学専攻客員教授。

2022年より地球システム領域上級主席研究員、東京大学未来ビジョン研究センター教授(クロスアポイントメント)。専門は気候科学。

気候変動に関する政府間パネル第5次、第6次評価報告書主執筆者。

学習会を受けて

ここ数年、頻度高く使われている「100年に一度の大雨」や「異常気象」といった表現でもわかるように、日本、そして世界の至る所において、自然災害はもはや危機的状況にあります。この気候危機を招いていると考えられる温暖化については、人間活動に原因があることに疑う余地がないこと、なかでもエネルギー問題は重要で、少しでも早く再生可能エネルギーにシフトすべきであることなど知りました。

自分たちが使う電気が、二酸化炭素を排出して得られる電気なのかそうでないのかは、今後ますます大きな問題です。コロナ禍と共通する背景についても言及され、人間が生態系に踏み入っている、グローバル経済、大量生産、大量消費、社会的格差の拡大、国同士の助け合いが不十分である、など指摘されました。

幸い、私たちはグリーンコープでんきを選ぶことができ、4Rに日々いそしむこともしています。加えて政治家を選ぶ際、その人は温暖化を留める施策をするのかしないのか、これも今後大切な視点になるものだなあ、と一票を投じる時の心得を肝に銘じました!

福岡地域理事長 大坪 亜野子

カーボンニュートラルとは、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの排出量と、森林などの温室効果ガスの吸収量をイコールにすることで、合計を実質ゼロにすることです。



参加者から寄せられた感想 (抜粋)

日本人は環境を考える時に、不便になるとかお金がかかるなどのマイナスなイメージから入りがちというところ、確かにそうだと思いました。

ポジティブなイメージで受け止められるようになったら、再生可能エネルギーや環境を考えてゴミを減らしたりできるのかな。子どもにいい環境を残してあげたいので、やれることからやっていきたいです。



大転換の事例として分煙革命(30年前はあらゆる所でタバコの臭いがし、それが当たり前だったが、今では分煙が常識)があります。

個々の努力、企業努力などで常識が変わるのだから、一人ひとりが意識して小さな努力を重ねていけば、多少なりとも温暖化の加速は止められるのでは?自分に何ができるか、考えさせられました。



「『脱炭素化』はしぶしぶ努力して達成できる目標ではない。社会の大転換が必要。」という言葉に、「やっぱり、そうか」と思いました。



江守さんお薦めの子どもの書籍『最近、地球が暑くてクマってます。』を読みたいです。



気候変動は起きていると体感的には思うが、専門家によって言われることも違い、調べるほどわからなくなります。



法人格をとりました!

一般社団法人 グリーンコープ在宅福祉ワーカーズ・コレクティブ きらめきを紹介します!!

私たち「きらめき」はグリーンコープと一緒に「住んでる街を住みたい街」にしていくため、生活者の視点で地域に本当に必要な福祉を追求し、地域福祉をすすめています。福岡県内で36の事業所があり、どこもアットホームな雰囲気です。

きらめきは、このたび一般社団法人を設立しました。法人格を得たことで、より社会的に認められるワーカーズとなり、活動を広げることができます。一緒に働くワーカーさんも募集しています♪



問い合わせはこちら (092-707-0440 担当 諫山・大久保)

きらめきって?

社会福祉法人グリーンコープ福岡の、主に高齢者や障がい者の在宅福祉を担っています。



～どんな事業があるの?～

●訪問介護(ホームヘルプ) ●定期巡回

きらめきのワーカーが利用者のご自宅に出向き、利用者がご自宅で安心して暮らせるためのお手伝いをします。



●居宅介護支援事業(ケアプランセンター)

きらめきのケアマネジャーとして、利用者が適切なサービスを利用できるように支援します。



ご本人やご家族とじっくり話し合ってケアプランを作成しています。

●通所介護(デイサービス)

利用者が通所介護施設にて、食事、入浴、レクリエーション、機能訓練などを日帰りでおこないます。



↑
デイ都府楼の一日の様子です(動画3分02秒)

●配食サービス事業

おいしい家庭料理を夕食のお弁当にして、ご自宅へお届けしています。



配食サービスセンター
こらぼの動画です
(2分56秒)



「配食サービスセンターこらぼ」が担います。

配達可能地域は早良区・西区・城南区です。(一部地域を除く)



詳しくはQRよりご覧ください

●障がい福祉

その人らしい生活を大切に、笑顔、幸せに寄り添います。「多機能つむぐ」では「ものづくり」と「食」を大切に活動しています。



●相談支援事業

障がい者の方が自立した日常生活を送れるよう、相談支援事業で一人一人のご要望に沿って、夢をかなえるお手伝いをさせていただきます。



～他にどんな施設があるの?～

- グループホーム(認知症対応型共同生活介護)
- 有料老人ホーム
- サービス付き高齢者向け住宅
- 小規模多機能型居宅介護もあります。



「まだまだ元気だけど、自宅での一人住まいがちょっと不安…」「家族の介護が大変になってきた…」という方に、最適な住まいです。

～福祉ワーカーズになって良かったこと～

☆家と仕事の両立がとてもしやすくなり、仕事も楽しいので、友人と一緒に働こうと誘えてよかったです。

I.Kさん

☆休みもとやすく、「きつくないか」など、みなさん気遣ってくださる点もありがたく思います。

I.Aさん

☆正社員、派遣社員、介護老人保健施設やデイサービスのパートなど、その時々可能なスタイルで仕事をしてきました。組織としての理念、事業や活動の幅広さ、手厚い研修体制、不安や疑問も相談しやすく、これまでにない職場です。

I.Kさん

介護職員初任者研修

おかげ様で福岡講座は満員御礼!!
お仕事のために、また家族のために介護の資格を取りませんか? 受講後、社会福祉法人グリーンコープのこれらの施設で就業される場合は、受講料の助成がありますよ♪

北九州講座開催のご案内

日時: 2023年9月5日(火)～11月15日(水)
7/10週チラシ配布
会場: グリーンコープみずまき店及び
デイサービスセンター中間

受講に興味がある方、下記までお気軽にお問い合わせください。

グリーンコープ生活協同組合 ふくおか福祉事業本部 担当 川崎・吉岡
TEL:092-482-7771 FAX:092-482-7072
電話受付時間 10:00～16:00
◎申し込み締め切り日 8/18(金)

広報委員の

おうちごはん



～春の筍三昧ごはん～

我が家では春に筍三昧になる時期があります。今では恒例になった祖父の家の筍掘りはひ孫である子どもたちを祖父母に合わせる事が目的で始まりました。当時0才だった娘も8才になり、今では立派な戦力です。山盛りに採れた筍はその場でアク抜きをしてたくさん持ち帰るのでしばらくの間、食卓は筍三昧です。筍ごはん、煮物、炒めもの、カレー…しばらくいられないと思うほど食べます(笑)



祖父も今や90代。来年を楽しみにしつつも、最後になるかもしれない行事を母や妹とかみしめて、今年も筍を味わいました。

福岡西支部 菊地 希



さわ波

グリーンコわっています。一人暮らしープと私を引のお年寄りや、体の不自由き合わせたのな方の手となり足となり、は一本の大根 楽しく生協活動をしていました。手にす。地域の声を聞ける場所でした瞬間、新こそが元気カーです。私の考える福祉は、すべての方に寄り添って、少しでも豊かな暮らしで、笑顔の絶えない地域づくりをすることです。

北分身福祉委員長
安田 美穂



北分身福祉委員長
安田 美穂

おまつりのお知らせ

メーカー・生産者・組合員・ワーカーズブースで試食や販売など楽しい企画がいっぱい！
家族みんなで楽しめます！

福岡地域

7/1 ありがとうの感謝をこめて
35th anniversary
グリーンフェスタ
メーカー24社と産直生産者が大集合！
会場：エルガーホール

北九州地域

7/22 35th Anniversary
グリーンフェスタ
in 北九州
会場：AIMビル

中部地域

10/22 Green marché
(グリーンマルシェ)
～みどりの地球をみどりのままで～
会場：岡垣サンリーアイ

詳しくは
後日配布の
チラシを
ご覧ください



水俣・福岡展 2023

2023年 10月7日(土)～11月14日(火)
福岡アジア美術館 (水曜日休館)

📧 お便りです

投稿募集中！

(テーマ)
私のとっておき♡レシピ・川柳・家族(ペット)自慢などなど…
グリーンコープについて何でも結構です。

■応募方法

宛先を切り取り、封筒などに貼り、住所・氏名・ペンネーム・電話番号を明記して注文書と一緒にお願いします。Eメール、ハガキ、封書、FAXでの応募もお待ちしております！

■注意事項

※原稿及び写真は返却しません。
※お寄せいただいた原稿は編集部で一部修正、加筆する場合がありますのでご了承ください。
※個人情報商品発送時以外使用しません。
※ペンネームがない場合、本名で掲載させていただきます。

📄 掲載された方には※500グリーン券を差し上げます!!
※共同購入、お店、キープ&ショップで使用できる500円の商品利用券

✉️ アドレス
info-gwave@greencoop-fukuoka.page

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-5-1 博多大通ビルディング 3F
グリーンコープ生協ふくおか
「グリーン・ウェーブ」編集部 福田(組合員事務局)宛
TEL092-482-7765 FAX092-482-7780

私のとっておき♡



ペンネーム：三つ葉

わが家に欠かせないのは、産直びん牛乳です。食事の際、3人の子どもたちはそれぞれのコップを持ってきて、産直びん牛乳をなみなみと注ぎます。給食の牛乳よりも断然、美味しいそうです。1日1本以上、飲んでます。

今回はコレ！



産直びん牛乳
ノンホモ
900ml
321円
(税込346.68円)

産直びん牛乳
パステライズ
900ml
321円
(税込346.68円)

広報委員より



わが家のじいじは、「骨を強くする」と言って、一人で週に4本くらい飲んでます。…実はグリーンコープの牛乳が大好きみたいです♡

「私のとっておき♡」写真投稿募集

あなたが大好きなグリーンコープ商品、無くてはならない商品を持って写真を撮り、名前(ペンネーム)・コメント(100文字程度)・組合員歴(任意)と共に送ってください。カタログやお店にある商品なら、何でもOK! あなたの笑顔と商品への熱い思いをお待ちしています♡
※応募方法、注意事項は左記の📧お便りです📧を参照ください。

生活のいろいろな場面で…役にたちます

お金の問題で困ったとき 生活再生相談室 月～土 9:30～18:00 お電話で予約を。	北九州	福岡
	093-871-8824	092-482-7788
些細なことでも困ったら ふくし情報でんわ 月～金 10:00～16:00 (祝日は休み)	筑豊	久留米
	0948-22-5611	0942-36-8877
社会福祉法人 グリーンコープ ファイバーリサイクルセンター	北九州 9:00～16:00(祝日開設)	筑紫
	093-202-3039	092-593-5370
てるてるコーナー 月～金 9:30～16:30	福岡	筑後
	092-731-1455	0942-21-5406
	092-623-0294	
	電話などのお問い合わせ…… 月～金 9:00～17:00 センター内ショップ営業時間…… 月～金 11:00～17:00	
	商品についてのお問い合わせはこちらに。 ☎️ 0120-14-0586 ※祝日はお休みです。	

広報委員の
ホッと
ひとこと

「つなごあられ好きの
大学生の息子が
帰省する。張り切って
注文。
つなごがあるよに
喜ぶ息子を見ながら
おやつ箱を開けると
あるはずの「つなご」
がないっ。
チラリと夫を見ると
目が泳いでいた。
ここにもいたのか、
つなご、ファンが
京塚支部
つなごママ